

meguro

2022.3月号... Vol.167

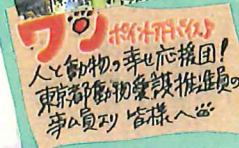
今月の話題...??

これを何と言いますか??

「おはぎ!」「ぼたもち!」... どちらが真先に浮かびましたか?! 詳しい方なら「今は春だから「ぼたもち、だね」声がかんて来そうなの! 昨今は、通年、王道の和菓子と見かけますが古くは、春のお彼岸と秋のお彼岸のお供物とい最高級のものでしたとか...。季節のものだったのだ。春には「牡丹もち」、秋には「お萩」と、季節の草花の名称で呼び分けられていました。ちなみに、春は「こあん」、秋は「つぎあん」と作り違いもあるそうなの。秋に収穫されたばかりの小豆は、皮がやわらかく、つぶれが残っていても美味しい。春まで保存に耐えた小豆は皮が固くなっているからこあんには美味しくないという、昔の人の知恵。工夫、本当に素晴らしい!! それを知るといつもは苦手なこあんも、春の酸っぱい味と、こ



要注意! 散歩道の美味しい? ゴミ



す、が春らしくなり、桜がちらり舞う中のお散歩、見ゆず「鼻歌」が出る季節ですね! 感染症対策の緩和と、お花見やピクニックに最適な時期が重なり、お弁当を屋外で食べて楽しむ方がとても増えていますね。また、コロナ渦で話題ともなったコンビニ前の路上飲み会も、再び土着しています。人々が楽しむ笑顔が増えるのはとてもうれしいのですが「半端なゴミ問題」でマナー違反という事で終わらず、時にはお散歩中のワンちゃんの命に関わることも! 例へば、芝生や草むらに、ピクニックの残飯が埋もれていたり... 飼主さんが見つけた前に、その美味しいニオイのゴミにワンちゃんがかがつかせ、それがチキンの骨や、焼鳥の串、お肉が刺さっているつま楊子など、鋭利なものにあたると「危ない!」と思いきなり取り出そうとすると、かえり、危いので飲み込んでしまいがち。また、大事な足の元、まさかの事態が起きない様に、リードは短く持ち愛犬と同じスピードでお散歩しましょう!

でも楽しみにしています! 原材料の小豆にちなんでもう1つ豆知識を... (笑) 春、ぼたもち、秋、おはぎ... 夏は? 冬は?... 別名発見! 夏は「夜船」、冬は「北窓」なんです、? 理由がまたイイ!! 作る時に、ご飯をつぶしてあんこを包み込むが、お餅の型にハンパンペタン!! と音を立ててはつきませんね。だから「いつついたかわからなかったね」といことから、昔、夏の夜に岸に着く船は静かにたどりつき、いつ着いたかわからなかった? と同じ... で、「夜船」。お餅の型にフカない = フカと知らない = つき知らず → 月知らず... 北の窓からは月を見ることのできないので「北窓」。日本語特有の巧な言葉遊びで生み出された季節感ある雅な呼称ですね。古典落語の巧み、なかなかダジャレのような... 日本人の母国語をユーモアにふりにアレンジして、四季を大切にしたいと繊細な心がこの和菓子の四季の呼称にも残されているといえますね。「牡丹の花子 (ぼたもちが大好き)」は、花子団子のお話をあつちしつたのが、言問バというちに、あ、かり古の芝人が生み出した雅な日本語に鬼入りした、真面目に論じまいた、(笑) 頭使って、甘いもの欲になつたので、早速「ぼたもち、いただきます」

今月の工事

『神業か!』

由緒あるお住まいから職場へと、大切な神棚の移設を仰せつかりました。新たな設置場所にはいくつかの課題。まず、鉄筋コンクリート造への固定が困難。そして、巾・奥行・高さ、すべてに限界あり。「この寸法でない...」開かない・ぶつかる・コレが置けない... など、お社(やしろ)が収まるかギリギリの線。大工と共に「納まるのか??」慎重に切詰め、削り、ちよつと加工... なんとすべてが数ミリレベルでピタリ!



コンクリートへの固定もがっちり。



これぞ『神の成す業!』と思いましたが、大工は『俺の頭と腕!』と申しております。(笑)

花行元 megyuro 編集 編集長 いち。 虎建設(株) 新築・リフォーム 1-10-4 Tel. 03-3350-6689 Fax. 03-3350-8186